

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)トヨタカーローラ南海(株)本社駐	階数	地上5F
建設地	大阪府堺市西区浜寺諏訪森町西二	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2022年5月15日
敷地面積	2,928 m ²	作成者	安井 英樹
建築面積	1,732 m ²	確認日	2022年5月20日
延床面積	7,135 m ²	確認者	安井 克昌



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	当敷地は南海本線諏訪ノ森駅の北西側に位置している。当建物の設計に際し、計画上の配慮としては近隣を含めた環境空間を壊さずに、いかに環境空間にマッチするかに配慮した。(外観・建築物の規模等)又、外構の計画においても、出来るだけ空地を増やし、その緑化の計画に於いても空地率・緑化率の増大に配慮した。	その他 特になし
Q1 室内環境	温熱環境に関しては、品確法による等級3のレベルで断熱材を施工する。空気環境に関しては、仕上材料はF☆☆☆☆に基準に合格した材料を使用します。又、24時間換気を採用しています。当建築物は全館禁煙とします。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	省エネルギーに関しては、建築物の照明機器・照明器具を省エネルギー使用の製品を使用しています。	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	耐用・信頼性に関しては、建築物構造部分の耐用年数を長くするため品確法による劣化等級2の材料で施工します。又、住宅設備等に関しても、品確法による維持管理等級2のレベルで施工します。設備用配管材としては、HIVP・	
LR2 資源・マテリアル	水資源・再生性資源の活用に関しては、特に環境への配慮はしていません。汚染物質に関しては、空調機器はフロン等の汚染物質は使用しません。又、断熱材はグラスウールを使用するので、発泡剤は使用しません。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)トヨタカローラ南海(株)本社駐車場・事務所棟新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市西区浜寺諏訪森町西2丁112番1 他4筆	1	B+
	主用途/延床面積	工場 / 7,134.90 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	3	●●●●●
エネルギー削減	4	●●●●●
建物の断熱性	3	●●●●●
安全快適な暮らし	3	●●●●●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア			
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.6	4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.4	4
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	3.0	3
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	4.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	—

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	